

2026 年 8 月 10 日

関係各位

水ing

水インフラへの理解促進へ 新潟薬科大学で出前授業を実施 — 高度な水処理技術とフィールドエンジニアの役割を紹介 —

水 ing 株式会社のグループ会社である水 ingAM 株式会社(社長:石川隆雄、本社:東京都港区)は、新潟薬科大学応用生命科学部において、2026 年 7 月 14 日、浄水処理・下水処理に関する出前授業を実施しました。今年度は大学からの要望を受け、高度な技術解説を取り入れた講義を実施するとともに、水インフラを支えるフィールドエンジニア(現場技術者)の役割について紹介しました。



約 130 名の学生が聴講

■背景と目的

新潟薬科大学応用生命科学部(応用生命科学科、生命産業ビジネス学科)では、地域社会が抱える課題の解決に貢献する人材を育成することを目指し、2・3年生向けに環境ビジネス分野の講義を実施しています。学生が水インフラや環境への関心を深め、職業選択を考える契機とすることを目的としています。

当社はこの趣旨に賛同し、実務知識に基づく専門的な視点の提供を通じて、学生が自身の将来像を描く一助になることを願い、2016年度から継続的に出前授業を実施しています。

■今年度の特徴

今年度は大学からの要望を受け、昨年度よりも専門性の高い内容を盛り込みました。浄水処理では沈殿原理やろ過池の仕組み、下水処理では反応タンクの運転管理や異常流入時の対応など、実務に即した技術解説を行いました。また、VRコンテンツを活用し、普段見ることのできない水処理施設の内部や設備を紹介しました。

■当日の様子

当日は、応用生命科学部の学生約130名が受講しました。新潟県内の浄水場や下水処理場で運転管理業務に従事しているフィールドエンジニア5名と採用担当者が講師を務め、当社グループの概要や浄水・下水処理の工程について、画像や実務経験を交えて解説しました。このうち同大学の卒業生も登壇し、学生たちは講師の説明に熱心に耳を傾けました。

■小瀬教授による講評

講義の最後には同大学の小瀬知洋教授から講評があり、水処理施設の運転・維持管理を通じて培われる知識や経験、長年の実践によって身に付く技術は、AIの活用が進む時代においても社会インフラを支えるうえで重要であることが語られました。また、水ingグループで活躍する同大学卒業生にも触れ、学生にとって、自身の学びが将来どのような仕事につながるかを考える機会となりました。



VRを活用した施設紹介の様子



ストークスの式を用いた沈殿原理の解説の様子

<講義概要>

- ・ 講義日時：2026年7月14日（火）14:50～16:20
- ・ 講義内容：浄水・下水処理の仕組み
- ・ 受講者：応用生命科学科2年生、生命産業ビジネス学科3年生 約130名
- ・ 講義場所：新潟薬科大学（新潟市秋葉区東島265-1） 新津キャンパス 303講義室

◇水ing(すいんぐ)グループについて◇

水ing（読み：すいんぐ）は、「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける『ing』」を経営理念に掲げ、水処理施設（浄水場、下水処理場、污泥再生処理センター、し尿処理場、民間施設等）の設計・建設から運営、維持管理までをトータルに手掛ける水処理事業会社です（運転・維持管理の拠点は国内約300か所）。

“水の先をつくれ。”というブランドメッセージのもと、地域の暮らしの課題に目を向け、安全安心な水環境を提供し続けるとともに、水を通じて、暮らしと街の未来を支えています。

2026年よりインフロニアグループの一員となり、グループ各社との連携を通じて、一気通貫で社会インフラを支える総合力を高め、さらなる価値創出に取り組んでいます。

(公式WEBサイト <https://www.swing-w.com>)

<問い合わせ先>

水 ing 株式会社 広報部

E-Mail: pr.news@swing-w.com